

令和7年度 第1回 調布市地域経済対策会議要旨について

開催日：令和7年6月19日（木） 午後3時から4時30分まで

場 所：市長公室（市役所5階）

出席者：渡部 完治（調布市商工会 会長）
秋沢 淳雄（調布市商工会 副会長）
玉村 秀樹（調布市商工会 副会長）
相田 英俊（調布市商工会 商業部会長）
品川 信幸（調布市商工会 工業部会長）
川又 祐一（調布市商工会 建設業部会部会長）
大前 勝巳（調布市商工会 商業部会副部会長）
山口 純（調布市商工会 事務局長）
佐伯 大太（多摩信用金庫 価値創造事業部地域支援グループ上席主任調査役）
吉田 直也（多摩信用金庫 調布北口支店長）
加藤 恭永（多摩信用金庫 調布支店長）
本田 尚美（調布市 副市長）
鈴木克昌（調布市 生活文化スポーツ部 産業振興担当部長）
深沢 典充（調布市 生活文化スポーツ部 次長）
伊東 良之（調布市 生活文化スポーツ部 産業振興課長）
花岡 裕（調布市 生活文化スポーツ部 産業労働支援センター担当課長）
宮地 朋子（調布市 生活文化スポーツ部 産業振興課主幹）
栗野 和也（調布市 生活文化スポーツ部 産業振興課長補佐）
杉本 祐二（調布市 生活文化スポーツ部 産業振興課産業労働支援係長）
野口 大輔（調布市 生活文化スポーツ部 産業振興課主任）
佐藤 恵太（調布市 生活文化スポーツ部 産業振興課主任）
平野 栞（調布市 生活文化スポーツ部 産業振興課主事）
フネブルグ 由佳（調布市 生活文化スポーツ部 産業振興課主事）
※阿部サービス業部会部会長，山岸商工会アドバイザーは欠席

1. 開会

【商工会会長】

- ・今年市制施行70周年の年であり、商工会としても商工まつりを70回目の記念の回として地域の皆様と盛り上げるべく、早い段階から準備を始めている。
- ・市内事業者の状況は、依然として物価の高騰や人材不足といった課題が経営に大きな影響を及ぼしている。商工会としても、引き続き事業者の皆様へ寄り添った伴走型の支援を行っていく。

2. 事業者支援策等の取組状況について

○調布市中小企業事業資金融資あっせん制度（コロナ・物価高騰口）の取組状況

【調布市】

- ・令和7年度の申請件数については、現在までで85件となっており、昨年の同時期と同じような推移となっている。そのうち、コロナ・物価高騰口の件数は14件で、前年度と比べると若干の減少傾向となっている。

○創業チャレンジ支援事業の取組状況

【調布市】

- ・補助金額について、昨年度までは月額5万円だったが、今年度は月額7万5千円に増額して実施している。
- ・昨年度は7名の申込みがあり、審査の結果4名の方に補助を実施した。今年度は、13名の応募のうち審査の結果、8名の方に補助を実施しており、昨年度の2倍の人数となっている。
- ・今年の応募者の内訳としては、飲食店10名、サロン関係2名、不動産業1名となっている。

○新商品開発等補助事業の取組状況

【商工会】

- ・昨年度から新たに実施している事業。昨年度は11件の実績となった。事業の利用者からは、非常に好評をいただいている。
- ・今年度は4月から募集を開始している。募集件数は10事業者、補助金額も昨年と同様に、補助率を3分の2で40万円を上限として補助を行う。
- ・今年度は6月末で申込締切としており、現在は3名の申込みがある。7月に審査・決定し、1月には商品の完成という流れとなる。

○市内消費喚起事業（バイ調布チケット事業）の取組状況

【商工会】

- ・今年で4回目の実施となる。今回は調布駅周辺を対象エリアとし、駅前の6商店会や協同組合に協力をしてもらい実施する。
- ・開催期間は11月15日から12月15日までの1ヶ月間を予定しており、約100店舗の参加を集める想定。発行総額は1500万円で、1冊5000円分を4000円で販売する。
- ・昨年は非常に好評で、早い段階で売切れとなった。今年は調布駅前ということもあり、さらに早く売り切るだろうと想定している。

○調布市市内事業者物価高騰支援事業の取組状況

【商工会】

- ・燃料費，電気料金，ガス料金について，補助対象経費の20%を補助する制度。
- ・3月から5月30日までを申請期間とし，申請件数は3，185件，申請総額は302，613，443円となった。給付については順次対応を進めている。
- ・特に物価高騰の影響を受けやすい飲食業の方からは，非常に有効な施策であると好評をいただいている。

3. 市内事業者の現状について

【商工会商業部会】

- ・昨年度から，部会長として市内の商店会のイベント等を視察している。商店会ごとに特性があるが，活動が活発ではない商店会に対して，どのようにアプローチしていくかということが課題ではないかと考えている。
- ・商店会は高齢化が進んでいる。飲食店経営者には若い方が多いが，お店の準備や対応等で集まりに参加できないということをよく聞く。そういった方々を取り込んで商店会の活動を活発にするために，情報伝達・共有方法のデジタル化などを進めていきたい。
- ・6月末に商店会長等の連絡会があり，その際に商店街への補助金について市から説明してもらい，改めて理解を深めていく予定。

【商工会工業部会】

- ・現在の売上状況や昨年度との比較，事業継続等について，アンケートを行ったところ，15社から回答があった。
- ・現在の売上状況については，半分以上が減少との回答。後継者の有無については，半分以上が「いない・考えていない」と回答。物価高騰による取扱原材料の上り幅については，鉄，メッキ等ほとんどが10%かそれ以上の高騰との回答があった。
- ・商工会や市への要望としては，補助金の要件緩和や人材確保のための補助金などの意見が上がった。

【商工会建設業部会】

- ・物価高騰や人材不足などの問題により，苦しい状況は変わらない。特に人件費については，影響が大きい。報道等の影響を受けて，苦しい状況の中でも何とか給与のベースアップに対応している。さらに週休2日制となると，これまで月に2日程度の休暇に比べて単価が上がり，人件費の増加と同様の負担となっている。
- ・物価高騰，人件費の増加などの理由で，利益率は下がっている。
- ・建設業界は屋外での作業が多いが，今年は早い時期から気温が高くなり始めたことで，暑さ対策が間に合っていないところが多い。
- ・7月に部会の連絡会があり，この暑さへの対策や，物価高騰をはじめとする課題について，様々な意見を聞きながら取り組んでいきたいと考えている。

【商工会サービス業部会】※商工会による代読

- ・物価高騰と人材不足については依然として課題となっている。特に、サービス業部会はマンパワーに頼る部分が多い分野で、人材不足イコール稼働率そのものに影響している。私見としては、稼働率は70～80%くらいの印象。
- ・暑さの問題もあり、外仕事だと人が集まらないということもある。仕事の内容によって人材確保の難しさがある。
- ・人材確保にも資金が必要であり、その点でも大手に比べて中小企業は厳しく、人材確保に向けた競争が進んでいることに危機感がある。
- ・価格転嫁については、取引相手によっては難しく、利益率が減っている状況がある。

【商工会 秋沢副会長】

- ・昨今取り上げられている「米」の問題については、これまでも災害や不作な年があったが、ここまでスーパー等に行列ができることはなかった。とても特殊な状況であると感じる。
- ・災害等の有事でないときにも、消費者の購買意識や心理というものの影響は大きい。市や商工会として、今後の地域のことを考えるときには、こういった消費者心理や購買意識という視点を市民レベルで捉えていかなければならないと感じる。

【商工会 玉村副会長】

- ・物価高騰や人材不足について、今後も状況は変わらないと考えている。様々なところで補助金等を利用しているが、それで耐え忍んで解決するものではない。働き手がいないのであれば、少ない中で効率的に進める方法を考えたり、DXの推進であったり、現在の環境の中で効率よく仕事ができる経営環境を作っていかなければならないと考える。
- ・支援を受けることも大事だが、状況の変化に敏感になりながら、他力本願ではなく、意識をもって取り組んでいく必要がある。

【調布市商工会商業部会副会長】

- ・どこの商店会も、飲食店の占める割合が多いこともあり、夜の役員会に出られない方が多く、商店会の運営に関して頭を抱えているという話をよく聞く。そのような集まりに出られない飲食業の方々に、商店会に加入しているメリットをどのようにして感じてもらうか、課題となっている。
- ・商店会への所属意識や利点を高めるためにも、商店会の活動に関する情報共有が重要と考える。効率的な情報伝達のために、デジタル技術を活用した方法を確立したい。

【市内金融機関】

- ・産業労働支援センターにおいて、毎週水曜日に創業の個別相談会を行っており、令和6年度は65件の相談を受けた。
- ・現在、ビジネスマッチングに力を入れている。これまでは支店ごとに情報を管理していた

が、支店間での情報共有を行い、ビジネスマッチングに活用している。

- ・以前であれば、資金繰りに困ったときに弁護士等に早い段階で相談するが、最近は急に倒産する企業も多い。

4. その他

○調布市市内事業者の魅力発信事業について

【調布市】

- ・市内事業者の人材確保を応援する取組として、商工会と連携し、市報ちょうふに事業者の紹介記事を掲載する。今年度は9月と3月の2回掲載を予定している。
- ・次年度以降については、事業者の皆さんの状況を確認しながら、掲載頻度等を検討し、連載していく。
- ・掲載タイトルについて、チラシを作成し、募集を行う。